

1位

題名 変化し始めた自分

トルガエフ タメルラン カザフスタン 新宿日本語学校

皆さん、こんにちは。

皆さんは、昔の自分と比べて、自分は変わったと思いますか。私は日本での留学生活を通して、自分が大きく変わったと感じます。

私は2年前、日本の千葉に留学に来ました。そのとき、あの東日本大震災が起きました。地震が起きた直後、私はショックを受けていました。公園に避難すると、多くの日本人がいました。このような非常事態で皆もショックを受けていると思いましたが、まわりを見ると、驚いたことに皆落ち着いた様子に見えました。小さな子供でさえ、手を繋いで大人しく親を探していました。そして、まわりの人を気遣う様子も度々見られました。「どうしてこんな時に、そんなことができるのだろうか。」と思いましたが、それは皆、自分のことよりも周りのことを考えていたのだと思います。そのような日本人の様子を見てから、「私は自分がこうしたら周りの人がどう感じるだろう」と考えるようになりました。周りの気持ちを考えるようになったのです。

千葉での留学を終え、一度帰国した私が二年ぶりに千葉に行くと、景色は同じでしたが、その景色を見て、私がかかなり変わったということが分かりました。日本人の優しさに触れ、日本社会の影響を受け、私は徐々に変わっていたようです。もし、日本へ留学に来なかったら、私はこのようなことに気づくこともなかったかもしれません。

もう一つ、日本の影響を受けて変わったことがあります。日本人はよく感謝の言葉を口にし、感謝の表現にも色々あります。些細なことでも必ず「ありがとう」を言います。また、日本語の挨拶には「お元気ですか」「おかげさまで」という表現があります。これは、「私が元気なのはあなたのおかげです」と感謝の気持ちを表しているのです。

感謝の表現が多いということは、日本の社会の習慣や日本人の心を反映しているのでしょうか。つまり、言語は文化と結びれていると思います。私も日本の社会で生活しながら、実際に感謝の気持ちを伝える表現を多く使うようになっていました。その結果日本語だけでなく、母語での話し方も変わりました。周りにいる人にちゃんと感謝の気持ちを伝えるようになったのです。しかし、相手の気持ちを考えるとやはり感謝の気持ちはちゃんと伝えるべきだと思います。

周りの影響を受け、人は変わります。ある出会いによって、人格、性格、人生が変わることもあります。私にとって、その出会いは日本でした。日本では日本人から多くの優しさを受けました。これから先、多くの出会いがあると思いますが、私は自分もまた人を変えられるような存在になりたいです。

以上です。ご静聴ありがとうございます。